

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月17日更新

事務事業名		シルバー人材センター運営支援事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	水野 孝春
	施策	16	高齢者の自立と社会参加の促進			所属課	高齢者支援課	担当者名	中田 玖美
	基本事業	48	高齢者の働く場の提供			所属班	高齢者保険班	(内線)	2144
予算科目		会計一般	款3	項1	目4	事業連番10447	法令根拠	高齢者等の雇用の安定等に関する法律 合志市健康福祉補助金等交付要	成果優先度評価結果 : ⑦ コスト削減優先度評価結果 : ⑥
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	○合志市シルバー人材センターの運営を支援するため、運営に要する経費の一部を補助する。 ○老人福祉法第3条第2項(基本的理念)、高齢者等の雇用の安定等に関する法律第40条(国及び地方公共団体の講ずる措置)に基づき補助する。 ○シルバー人材センターを設置する市町村として、社団法人熊本県シルバー人材センター連合会に負担金(賛助会費)を支払う。 ○平成9年シルバー人材センター設立。平成19年社団法人となる。平成24年公益社団法人へ移行。 ○「団塊の世代」が第2の就職を終えて年金受給開始年齢に達することから、シルバー人材センターへの会員登録が増加すると見込まれる。
【業務の流れ】	【補助金】①事業計画承認(補助金内示) ②補助金交付決定 ③補助金概算払(2回) ④事業実績報告審査(補助金額確定・概算払精算) 【その他】①理事会への出席 ②総会への出席 ③熊本県シルバー人材センター連合会賛助会費支払
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金(負担金・補助金)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	特になし

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
①手段(主な活動)26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)	27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
①補助金の事業計画承認、補助金交付決定・概算払、事業実績報告審査 ②理事会・総会への出席 ③熊本県シルバー人材センター連合会賛助会費支払	26年度と同じ
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ア:市補助金額	千円 国の補助限度額引き上げによる市補助金の増(180千円)
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
合志市シルバー人材センターの会員	→ア:シルバー人材センター会員数 人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
収入が確保される	→ア:就業実人員 人
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠	
シルバー人材センター会員のうち、年間を通じて1回以上就業し、収入を得た就業実人員とした。目標値は、シルバー人材センターが設定する目標就業率×会員数とした。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2)各指標・総事業費の推移		単位	24年度実績(決算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	28年度予定	29年度見込	30年度見込	
① 活動指標	ア	千円	7,100	7,100	7,100	7,280	7,280	7,280	7,280	7,280	
	イ										
	イ										
② 対象指標	ア	人	212	239	254	223	260	260	260	260	
	イ										
	イ										
③ 成果指標	ア	人	206	208	236	216	241	241	241	241	
	イ										
	イ										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A)事業費計	一般財源	千円	7,230	7,230	7,230	7,410	7,410	7,410	7,410	7,410
		(A)のうち指定経費	千円	130	130	130	130	130	130	130	130
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	2	1	2	0	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	70	50	70	0	70	70	70	70
(B)人件費計	千円	284	199	278	0	278	278	278	278		
トータルコスト(A)+(B)		千円	7,514	7,429	7,508	7,410	7,688	7,688	7,688	7,688	

事務事業名	シルバー人材センター運営支援事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	------------------	-----	-------	-----	--------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した 就業率は96.9%と高率であったが、会員数の減少により、就業実人員は目標値に達しなかった。 会員が減少した要因として、景気回復傾向に伴い企業への就業（安定収入）を求め入会者が少ない。入会しても希望する就業先がないため退会することが考えられる。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 会員1人につき新入会員1人獲得の展開、事務職系会員や女性会員の就業ニーズに対応するため派遣就業の拡大、介護予防・日常生活支援総合事業への参画など就業人員の増加への取り組みが計画されている。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 事務系職域や女性会員向け職域の開拓、介護予防・日常生活支援総合事業への参画など職域を拡大することにより就業人員を増やすことができる。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 公益社団法人としての運営は財務面で厳しい状況もあることから削減余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 補助金交付事務に係る必要最少の業務時間数である。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 高齢者等の雇用の安定等に関する法律第41条(指定等)に基づき定年退職者等で就業を希望する者についてその希望に応じた就業の機会を提供する団体として熊本県知事の指定を受けたシルバー人材センターへの補助金の交付は、受益機会において公平・公正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 定年退職者等で就業を希望する者についてその希望に応じた就業機会を提供する団体の育成は、高齢者等の雇用の安定等に関する法律第40条(国及び地方公共団体の講ずる措置)に定められた行政の講ずる措置であり役割分担は適正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

<p>○受注件数3,335件(前年比105.7%) ○受注金額141,013千円(同109.4%)          ○就業回数124回(就業延人員26,891人/就業実人員216人)          ○配分金額554,977円(配分金収入額119,875千円/216人)          シルバー人材センターは、高齢者の就労支援として市の高齢者福祉施策と合致するものである。職域開拓・就業機会拡大の事業に取り組むことで、収益改善が図られる可能性に期待し、引き続き支援していきたい。</p>
---

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可  <input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)  <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)  <input type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)  <b>事務系職域や女性会員向け職域の開拓、介護予防・日常生活支援総合事業への参画など職域を拡大することにより就業人員を増やすことができる。</b></p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						